

Regional Centre of Expertise on Education for Sustainable Development
持続可能な開発のための教育に関わる専門性を持つ地域の拠点

RCE Hokkaido Central (道央圏) におけるSDGsの活用

2016年9月5日(月) 第2回NGO-JICA協議会

RCE北海道道央圏協議会

有坂 美紀

RCEとは？

- 持続可能な社会を実現していくため、地域の多様な関係者が協力し、実践を重視した教育によって、課題を解決していく拠点

※RCE＝“持続可能な開発のための教育”に関する地域拠点

Regional Center of Expertise

on Education for Sustainable Development

- 推進機関は国連大学高等研究所(UNU-IAS)
所在地：東京都渋谷区



世界各地のRCEメンバー



- ・世界に146拠点
- ・アフリカ中東:32、アジア太平洋:54、欧州:39、南北アメリカ:21
- ・日本国内:7か所

世界のRCE

<途上国>

→ 生活に直結した課題解決のための手段

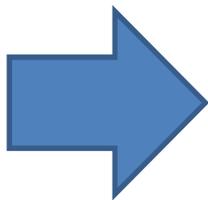
e.g) 鉱山開発による公害、女性差別、
スラム街の公衆衛生、急速な都市化など

<先進国>

→ 複雑化した課題解決のための協働推進

目的としたプラットフォーム

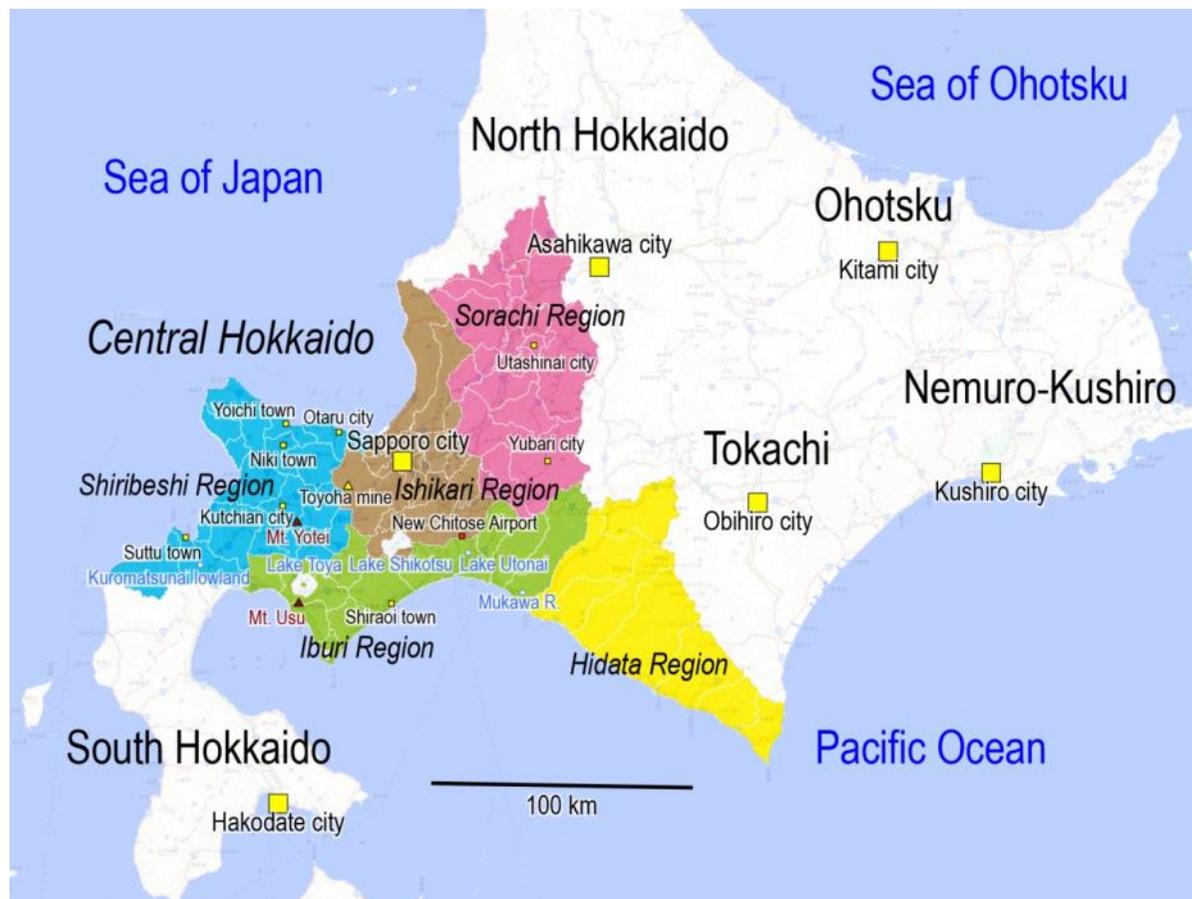
e.g) 学校教育・社会教育・家庭教育の統合、
政策参画、人材育成のための教材開発、など



国連大学が策定したRCEコミュニティのための2016～2020年のロードマップでは、SDGs 達成に寄与するとしている。

RCE Hokkaido Central とは

RCE Hokkaido Central の範囲



※ 道央圏：石狩・空知・胆振・日高・後志(21市42町7村)が含まれる範囲

RCE北海道道央圏の活動

1. 参加機関のマッチングのプラットフォーム
 - 勉強会やセミナー、実践プログラムの検討等
 - 各組織の活動報告、情報交換 など参画組織の交流の場
2. RCE の協働プロジェクトに新たな関係者や参加者の参画を促す
 - 地域内の課題と実践者、取り組み内容の見える化
 - ・ SDGsを参考とした課題と実践者、活動内容のカテゴリー分け
 - ESD実践者の掘り起こしと巻き込み
3. 協働プロジェクトをブラッシュアップする場
 - プロジェクトを協議会に提案し、中身に対して意見やアイデアを出す
 - 了承だけでなく、自分の分野からなにかを追加する
 - プロジェクトの開始後も、必要に応じてアドバイスする
4. 世界各地のRCEとの交流
 - RCE関係者が集まる会議に出席し、意見交換、情報収集・発信をする
 - グローバルRCEメンバーとの協働プロジェクトを実施していく

ビジョンと目的

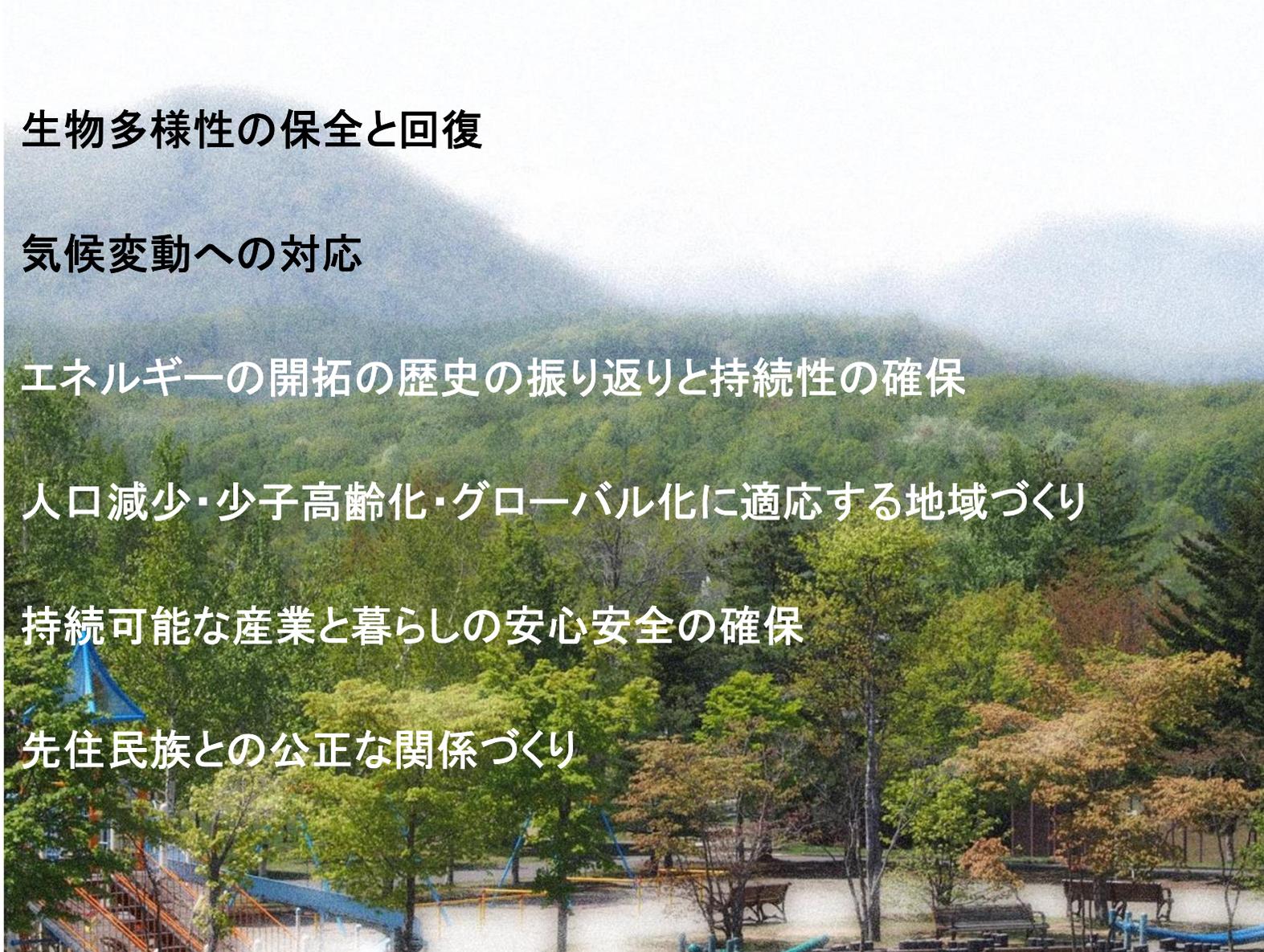
北海道の開拓の歴史150年を振り返り、歴史から学ぶとともに、今後の100年を見すえた持続可能な地域社会を実現する。

RCE 北海道道央圏が目指す、100年後の持続可能な社会の特徴

1. 自然豊かな地域社会が100万都市と共存する環境
2. 人権を尊重し、人の多様性を受け入れる多文化社会
3. 資源が循環し、生命と人間性を尊重する経済

RCE北海道道央圏で取り組みたい6つの課題

1. 生物多様性の保全と回復
2. 気候変動への対応
3. エネルギーの開拓の歴史の振り返りと持続性の確保
4. 人口減少・少子高齢化・グローバル化に適応する地域づくり
5. 持続可能な産業と暮らしの安心安全の確保
6. 先住民族との公正な関係づくり



SDGsへの貢献も見据えた「協働プロジェクト」

1. 国際高大接続プログラム（学生による国際森林保全ワークショップ） SDGs: 4、13、15、17
 - ・異なる環境で実習を受けることで生態系をより深く理解できる
 - ・地域の自然再生が技術交流により効果的に行われる
2. **北海道のローカル・アジェンダづくり** SDGs: 17
 - ・地域計画案がESDを発展させるRCEの求心力の源となる
 - ・協働作業を通じて、関係者間の連携が強化される
 - ・9月のテーマは、「北海道と先住民族」
3. 大学とRCE参加団体の協働による持続可能な道央圏に向けた人材育成 SDGs: 4、8、17
 - ・人材育成に関するRCE参加団体の俯瞰的なマッピングができる
 - ・大学中心の人材育成から、RCE参加団体が共有できる人材育成に変革される
4. 持続可能な社会づくりに貢献する企業経営を考える研究会 SDGs: 3、4、8、17
 - ・雇用環境を継続的に改善する企業が増加する
 - ・あらゆる社会問題を自分事として課題解決に取り組む社会人が増える
5. 環境教育プログラムのバージョンアップ・道内向けカスタマイズ SDGs: 4、17
 - ・北海道の環境特性や他地域との違いをより正確に伝えることができる
 - ・またその理解促進に寄与することができる

RCE北海道道央圏のお約束

○「プラス1」原則を守る

これまでとは違うやり方、違う分野、違う地域に一步踏み出すこと

○課題解決のため、国際、地域、経済、文化に高い関心を持ち、 環境保全・エネルギーに配慮する視点を持つこと

○人材育成・教育につながる活動であることを意識し、 「実践・体験」、「小さな成功と失敗」、「多様な価値観」、 「強みを活かす」という視点を持つこと

○世界共通目標(SDGs)達成への貢献を意識すること

RCE Hokkaido Central は、

持続可能な社会を実現するために、
北海道ならではの課題と魅力に向き合い、
多様な分野、セクター、立場、地域の方々と協力しながら、
新たな関係者を常に巻き込みつつ、
地域から世界の課題解決に貢献していきます。

本日はありがとうございました。
ご協力のほど、よろしく申し上げます！